

APEC 女性と経済フォーラム 2018 (WEF)

女性と経済に関する官民対話 (PPDWE)

林 横浜市長 基調講演

2018 年 9 月 6 日

デイヴィッド・トウア議長をはじめ、お集まりの皆様、こんにちは。

1996 年、APEC で初めて WLN（女性リーダーズネットワーク）会合が行われてから、ここには APEC エコノミーのリーダーが集い、女性たちを勇気づけ、育てようと、努力を重ねてきました。私も 2010 年の初参加以来毎回、励ましと刺激を得ています。

APEC での毎年の議論に後押しされ、各エコノミーでは次々に、具体的なアクションが生まれています。日本では、女性活躍推進法、政治分野の男女候補者均等法が成立しました。APEC BEST Awards は、頭角を表してきた女性起業家たちに光を当てています。

そして本日の議論によって、より多くの女性と女兒が、活躍へのチャンスに近づくはずです。

各エコノミーでは、デジタル時代を見据えたチャレンジが始まっており、横浜市も IoT の活用に積極的に取り組んでいます。

アクセントと連携し子どもたちへのプログラミング教育を実践するとともに、IoT 等を活用し新たなビジネスと課題解決策を創り出そうと、産官学のネットワークのプラットフォーム「IoT オープンイノベーションパートナーズ」を立ち上げました。

デジタル技術を活用し、テレワークや起業も促進されています。この変化は、女性の活躍を後押しする大きな力になります。また、女性の活躍を拡大するには、ロールモデルとなる女性リーダーを増やす必要があります。

女性リーダーは、男性リーダーばかりで意思決定がなされていた組織に新しい視点を入れ、変革をもたらすことができます。

私自身、半世紀以上に及ぶ職業人生で、このことを、身をもって経験してきました。管理職としても、経営者としても、女性である私は常にマイノリティでしたが、女性の強みである、相手に寄り添う共感力、包容力を活かしたマネジメントで、部下をモチベートし、業績を向上させてきました。男性と女性双方の特有の強みが活かされれば、組織が活性化し、新たなソリューションを生み出すことができます。

現在、横浜市長として、より多くの女性が経済に参画できるよう、若い世代のキャリア形成支援、女性管理職の育成プログラム、起業の支援など、多岐にわたる支援を実践しています。

昨年からは日本政府と共催で、まさに今後、リーダーとしての活躍が期待される女性の、役員候補育成事業をスタートさせています。

女性が活躍するために、支援制度やツールを整えることはもちろん必要です。

しかし実際のところ、多くの女性は女性特有の課題に直面し、一步を踏み出せずにいます。

私たちが包容力と愛情をもって、「あなたならできる」と後押しすることが大切です。

横浜では毎年、働く女性や女性起業家たちのためのシンポジウムを開催し、今後のキャリアへのインスピレーションを得て、ロールモデルと出会えるよう、サポートしています。近年は、海外の起業家、支援者の参加も得て、そのネットワークは広がっています。

いち早く女性活躍の重要性に着目し、そのエンパワーメントに取り組んできた私たち APEC エコノミーだからこそ、彼女たちに寄り添い、温かく後押しできると、確信しています。

全ての女性が活躍する社会に向けて、お集まりの皆様と想いを共有し、ともに取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。